

指定校番号	28092	学級活動	児童会・生徒会活動	学校行事	○	別紙様式
-------	-------	------	-----------	------	---	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	福山市立新市中央中学校	校長	門田 剛年	生徒指導主事	高地 浩司
-----	-------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『文化祭の向けての取組』

取組のねらい 『キーワード 最高の笑顔と思い出』

生徒が主体的に取り組むことで、達成感をもつことで最高の笑顔になり、思い出となるような行事にしていくことをねらいとした。

文化祭テーマ

「青瞬～今この一瞬に最高の笑顔と思い出を」

取組の具体的内容 『キーワード 責任をもつ』

3年生は、今までで最高の文化祭にしたいという願いから、ミュージカルに挑戦した。分担を細かくし、責任感をもたせることで、よりよい演技や準備を行うように仕組んだ。

2年生は、チャレンジウイーク（職場体験学習）の発表を生徒全員に分担することで、より責任感をもたせた。

1年生は、いじめを扱った劇を通して、仲間の大切さを学ばせるとともに、全員が参加できるように、分担をした。



大道具（絵）



衣装



台詞練習



ダンス練習

取組の課題・創意工夫 『キーワード 時間の確保』

すべての活動時間が放課後ということもあり、教員の負担が増えた。来年度以降、時間の確保をどうしていくかが課題である。その限られた時間の中で、教職員が細かに分担をし、計画をたてていくことで素晴らしい発表となった。

教員も分担をし、それぞれの部署で責任をもって取り組んだことで、生徒の達成感を高めることができた。

取組の成果（効果） 『キーワード 生徒指導の3機能』

自分の役割をきちんとはたすことで、自己肯定感を高めることができた。

自分のもたされた役割を責任をもって取り組むことで自己決定の場となった。

仲間と協力して取り組むことで、共感的人間関係を高めることができた。また、教職員も生徒と一緒に活動していくことで生徒との共感的人間関係も深まった。





	1学期	2学期
安心して生活できる 学校である	64%	82% +18
学校に満足している	76%	82% +6
自分にはよいところ がある	69%	69% ±0

生徒アンケートより

※「自分にはよいところがある」項目は、高まっていない。行事では、頑張りを見せているが、普段の学校生活の中で、生徒を頑張らせる取組が弱いと考えられる。

今後の展開『キーワード 行事から授業へ』

行事では、一致団結して素晴らしい発表を創ることができてきた。しかし、授業の中では受け身的な態度の生徒が多い。授業の中でも、生徒指導の3機能を生かした取組につなげていくことで、主体的に学ぶ生徒を増やす。そのことで、学力を高めていく。

授業づくり

1. 意欲・関心のもてる学習課題を設定する
2. 自分の考えや他者の考えを書かせる
3. わかりやすく伝えるために、ペア・グループ学習を設定する



	タイプⅠ	タイプⅡ	全体
国語	73.8 (2.0)	55.2 (-5.4)	70.3 (0.6)
数学	66.9 (-2.7)	50.9 (-6.4)	63.2 (-3.6)
理科	50.1 (-4.3)	45.1 (-3.2)	48.0 (-3.8)
英語	74.6 (2.0)	54.3 (1.3)	71.4 (1.8)

平成28年度広島県「基礎・基本」定着状況調査 県平均値差

他校へのアドバイス『共有』

行事を成功させようとする、莫大な時間がかかります。教育課程の限られた時間の中で、生徒たちに充実感をもたせるためには、事前の計画が大切だと思います。

達成感・充実感をもたせる→いつまでに何ができる→計画の見直し・変更は という流れで考えていけば良いと思います。

職員室の中で、子どものためにどんな話を我々教職員がしているか。会議がなくても、その場で教職員が共有できるように話をすることが前に向かって進んでいけることだと思います。

その潤滑油となるのが、生徒指導主事の役割の1つであると思います。